

平成 22 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 中 広
(コード番号 2 1 3 9 : 名証セントレックス)
本社所在地 岐阜県岐阜市塩町二丁目 6 番地
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 後 藤 一 俊
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 松 田 隆
電 話 番 号 (0 5 8) 2 4 7 - 2 5 1 1 (代 表)
(URL <http://www.chuco.co.jp/>)

業績予想の修正及び特別利益並びに特別損失の発生に関するお知らせ

当社は本日開催の臨時取締役会において、平成 21 年 5 月 13 日に公表した平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の業績予想の修正を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

また、同時に特別利益及び特別損失の発生についてお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

金額の単位：百万円、%

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	4,000	50	35	30	円 銭 4.69
今回修正 (B)	3,688	40	35	1	0.16
増減額 (B-A)	△312	△10	0	△29	△4.53
増減率 (%)	△7.8	△20.0	0.0	△96.7	△96.6
(ご参考) 前期実績	4,312	△43	△50	△219	△33.64

2. 業績予想の修正の理由

売上高のうち、フリーマガジン事業につきましては、ほぼ計画通りの前年対比で 24.6%増加となる見込みであります。広告 S P 事業につきましては、難しい経済状況下、多くの企業が経費を削減する動きから、広告予算が縮小された影響を受け、前年対比で 31.3%減少となる見込みで、全体では、前年実績を下回る見込みです。

また、営業利益につきましても、売上高が減少した影響から、修正いたします。

当期純利益につきましては、投資有価証券評価損が新たに 14,230 千円発生しましたこと等と、次に述べます特別利益及び特別損失が発生いたしましたことから修正いたします。

前年実績と比較して、減収増益になる見込みであります。

3. 特別利益の発生について

平成 20 年 5 月 9 日付にてお知らせいたしました、経営母体企業が経営破綻したことから事業の継続が困難になったポータルサイト事業において、平成 20 年 3 月期に特別損失として計上いたしましたリース契約解約損失 28,050 千円と同一グループ企業への買掛金 21,500 千円について、当社は被った損失への補填として債権放棄を申し入れ、合意を得ておりましたが、経営母体企業が経営破綻した事もあり、正式な合意文書を取り交わさず今日に至っております。

しかしながら、売掛金の請求時効である 2 年（民法第 173 条）を経過したことから、当該企業に消滅時効の援用を通知し、21,500 千円の特別利益が発生いたしました。

4. 特別損失の発生について

平成 17 年 11 月 1 日に合併いたしました、株式会社ピーツー（旧商号 蓮華開発株式会社）において営んでおりました霊園販売にて、販売を委託しておりました株式会社法輪から提起された、委託販売解除に伴う清算金の返還請求訴訟につきまして、下記のとおり、和解が成立いたしましたので、お知らせいたします。

（1）特別損失の発生及びその内容

平成 21 年 4 月 28 日、株式会社法輪は、当社に対し名古屋地方裁判所において委託販売解除に伴う清算金の返還請求訴訟を提起しておりました。

当社といたしましては、訴訟が長期化に伴う訴訟費用の増加等、損失発生を最小限に抑えるため、和解案の受け入れを決定したことにより、和解損失（特別損失）30,000 千円が発生いたしました。

（2）和解の相手先

会 社 名 株式会社法輪

所 在 地 名古屋市中区栄二丁目 9 番 5 号東海ビル 8 階

（3）和解の内容

当社は、和解金 30,000 千円の内、平成 22 年 3 月 31 日に 16,000 千円を支払い、残金については平成 23 年 4 月から平成 25 年 7 月まで、毎月 500 千円支払う。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上